

令和5年度

第2回山梨県文学館協議会資料

令和6年3月8日（金）

山梨県立文学館

資料目次

| | |
|----------------------|----|
| 山梨県立文学館協議会委員名簿 | 1 |
| 山梨県附属機関の設置に関する条例ほか | 3 |
| 山梨県文学館組織図 | 11 |
| 指定管理者組織図 | 13 |
| 山梨県立文学館の観覧者数の推移 | 15 |
| 【審議事項】 | |
| （1）令和6年度事業計画について | 21 |
| 【報告事項】 | |
| （2）令和5年度事業報告及び予定について | 27 |

文学館協議会委員名簿

任期：令和5年9月29日～令和7年9月28日

| 氏名 | 役職 | 出身分野(勤務先等) | | 備考 |
|--------|---------------|------------|------------------------|----|
| | | 社会教育 | (地域振興・商業) | |
| 大島わかな | 甲府青年会議所理事長 | 社会教育 | (地域振興・商業) | |
| 西田 遙 | NPO法人河原部社理事長 | 社会教育 | (地域振興・NPO) | |
| 矢崎 茂男 | 山梨文芸協会会長 | 学識経験 | (文芸) | |
| 山本 久美子 | 山梨日日新聞社論説委員 | 学識経験 | (報道) | |
| 水石 和仁 | テレビ山梨報道制作局長 | 学識経験 | (報道) | |
| 成富 耕志 | NHK甲府放送局副局長 | 学識経験 | (報道) | |
| 長谷川 千秋 | 山梨大学教授 | 学識経験 | (大学教育) | |
| 廣瀬 孝嘉 | 元山梨県教育長 | 学識経験 | (教育) | |
| 出澤 忠利 | 印傳博物館運営委員 | 学識経験 | (民間博物館) | |
| 仲田 道弘 | やまなし観光推進機構理事長 | 学識経験 | (地域振興・観光) | |
| 大塚 茂 | 山梨県書店商業組合理事長 | 学識経験 | (地域振興・書店) 柳正堂書店代表取締役社長 | |
| 秋山 和江 | 公募 | 家庭教育 | | |
| 田口 綾乃 | 公募 | 家庭教育 | | |
| 河手 由美香 | 県高等学校長協会代表 | 学校教育 | 北杜高等学校長 | |
| 横森 一哲 | 県公立小中学校長会代表 | 学校教育 | 中央市立玉穂南小学校長 | |

○山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第一条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第百三十八条の四第三項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第二条 執行機関の附属機関として、別表第一に掲げる機関を設置し、その担任する事務は、同表の担当事務欄に掲げるとおりとする。

2～4 略

（組織）

第四条 附属機関は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、執行機関が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

（会長等）

第五条 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第六条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、執行機関の規則で定める場合を除くほか、委員の二分の一以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会等)

第七条 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、部会又は小委員会を置くことができる。

(委任)

第九条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、執行機関の規則で定める。

別表第一(第二条、第四条関係)

一 知事の附属機関

| 附属機関 | 担当事務 | 委員の定数 | 委員の要件 | 委員の任期 |
|--------------|--|-------|---|-------|
| 山梨県文学館協議会 | 博物館法第二十三条第二項の規定による山梨県立文学館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務 | 十五人以内 | 一 学校教育の関係者 二 社会教育の関係者 三 家庭教育の向上に資する活動を行う者 四 学識経験のある者 | 二年 |
| 山梨県立文学館専門委員会 | 山梨県立文学館における資料の収集、保存及び展示並びにその実施する事業に関する調査審議に関する事務 | 六人以内 | 一 学識経験のある者 二 優れた識見を有する者 | 二年 |

○山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋）

（趣旨）

第一条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例（昭和六十年山梨県条例第三号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠の委員の任期）

第二条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長等）

第四条 条例第五条第一項の規定により、附属機関（次に掲げる附属機関を除く。）に会長を、次に掲げる附属機関に委員長を置く。

一～十 略

※次に掲げる一～十の附属機関に文学館協議会は入っていないため、会長を置く。

2 条例第五条第一項の規定により副会長を置く附属機関及び当該附属機関に置かれる副会長の定数は、次の表のとおりとする。

※次の表に文学館協議会はないため、副会長は置かない。

（定足数の特例）

第五条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

| 附属機関 | 定足数 |
|-----------|-----|
| 山梨県文学館協議会 | 過半数 |

（資料の提出等の要求）

第八条 附属機関は、その担任する事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係行政機関の長に対して、資料の提出、意見の開陳、説明その他の必要な協力を求めることができる。

（意見の陳述）

第九条 関係行政機関の職員は、会長の許可を得て、附属機関の会議に出席し、審議事項に関して意見を述べることができる。

(庶務)

第十二条 附属機関の庶務は、別に定めるところにより、処理する。

(委任)

第十三条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮つて定める。

○博物館法（抄）

昭和26年法律第285号
最終改正：令和4年法律第24号
最終施行：令和5年4月1日

（定義）

第二条 この法律において「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む。以下同じ。）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関（社会教育法による公民館及び図書館法（昭和二十五年法律第百十八号）による図書館を除く。）のうち、次章の規定による登録を受けたものをいう。

4 この法律において「博物館資料」とは、博物館が収集し、保管し、又は展示する資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。次条第一項第三号において同じ。）を含む。）をいう。

（博物館の事業）

第三条 博物館は、前条第一項に規定する目的を達成するため、おおむね次に掲げる事業を行う。

- 一 実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 分館を設置し、又は博物館資料を当該博物館外で展示すること。
- 三 博物館資料に係る電磁的記録を作成し、公開すること。
- 四 一般公衆に対して、博物館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行い、又は研究室、実験室、工作室、図書室等を設置してこれを利用させること。
- 五 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 六 博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
- 七 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- 八 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- 九 当該博物館の所在地又はその周辺にある文化財保護法（昭和二十五年法律第二百十四号）の適用を受ける文化財について、解説書又は目録を作成する等一般公衆の当該文化財の利用の便を図ること。
- 十 社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。
- 十一 学芸員その他の博物館の事業に従事する人材の養成及び研修を行うこと。

十二 学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する諸施設と協力し、その活動を援助すること。

2 博物館は、前項各号に掲げる事業の充実を図るため、他の博物館、第三十一条第二項に規定する指定施設その他これらに類する施設との間において、資料の相互貸借、職員の交流、刊行物及び情報の交換その他の活動を通じ、相互に連携を図りながら協力するよう努めるものとする。

3 博物館は、第一項各号に掲げる事業の成果を活用するとともに、地方公共団体、学校、社会教育施設その他の関係機関及び民間団体と相互に連携を図りながら協力し、当該博物館が所在する地域における教育、学術及び文化の振興、文化観光（有形又は無形の文化的所産その他の文化に関する資源（以下この項において「文化資源」という。）の観覧、文化資源に関する体験活動その他の活動を通じて文化についての理解を深めることを目的とする観光をいう。）その他の活動の推進を図り、もって地域の活力の向上に寄与するよう努めるものとする。

（館長、学芸員その他の職員）

第四条 博物館に、館長を置く。

- 2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、博物館の任務の達成に努める。
- 3 博物館に、専門的職員として学芸員を置く。
- 4 学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。
- 5 博物館に、館長及び学芸員のほか、学芸員補その他の職員を置くことができる。
- 6 学芸員補は、学芸員の職務を助ける。

（学芸員の資格）

第五条 次の各号のいずれかに該当する者は、学芸員となる資格を有する。

- 一 学士の学位（学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第百四条第二項に規定する文部科学大臣の定める学位（専門職大学を卒業した者に対して授与されるものに限る。）を含む。）を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの
 - 二 次条各号のいずれかに該当する者で、三年以上学芸員補の職にあつたもの
 - 三 文部科学大臣が、文部科学省令で定めるところにより、前二号に掲げる者と同等以上の学力及び経験を有する者と認めたる者
- 2 前項第二号の学芸員補の職には、官公署、学校又は社会教育施設（博物館の事業に類する事業を行う施設を含む。）における職で、社会教育主事、司書その他の学芸員補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するものを含むものとする。

(学芸員補の資格)

第六条 次の各号のいずれかに該当する者は、学芸員補となる資格を有する。

- 一 短期大学士の学位（学校教育法第百四条第二項に規定する文部科学大臣の定める学位（専門職大学を卒業した者に対して授与されるものを除く。）及び同条第六項に規定する文部科学大臣の定める学位を含む。）を有する者で、前条第一項第一号の文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの
- 二 前号に掲げる者と同等以上の学力及び経験を有する者として文部科学省令で定める者

(博物館協議会)

第二十三条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十四条 博物館協議会の委員は、地方公共団体の設置する博物館にあっては当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会(地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和三十一年法律第百六十二号)第二十三条第一項の条例の定めるところにより地方公共団体の長が当該博物館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされている場合)にあっては、当該地方公共団体の長が、地方独立行政法人の設置する博物館にあっては当該地方独立行政法人の理事長がそれぞれ任命する。

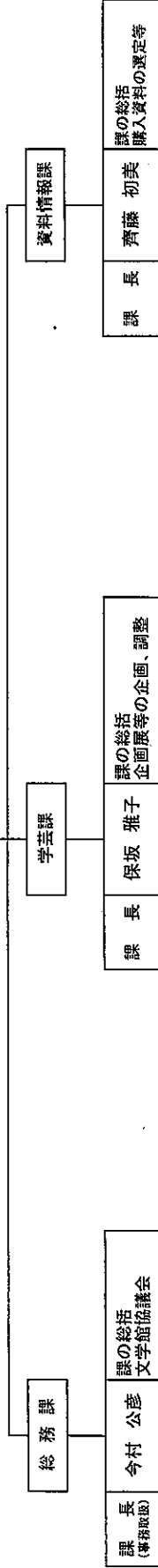
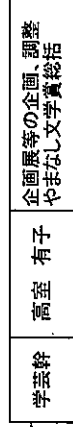
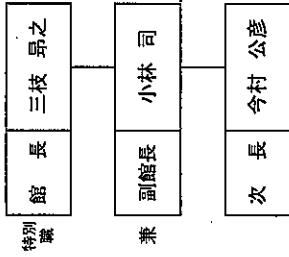
(入館料等)

第二十六条 公立博物館は、入館料その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならない。ただし、博物館の維持運営のためにやむを得ない事情のある場合は、必要な対価を徴収することができる。

文学館組織図

令和5年12月1日現在

| 所属名 | | | |
|------------|------------|--------------|--------------|
| 県立文学館 | | | |
| 正規職員 | 再任用 短時間 | 特別職 非常勤職員 | 会計年度 任用職員 |
| 10 (兼3) | 1 | 1 | 9 (兼1) |
| | | | 合計 |
| | | | 21 (兼4) |



学芸担当

| 職名 | 氏名 | 主たる業務 |
|--------------|--------|---------------------------------------|
| リーダー 学芸員 | 中野 和子 | 担当の総括 企画展・常設展の策 施、特殊資料の整理 公開 |
| 学芸員 | 伊藤 夏穂 | 企画展・特設展・常設 展の補助、特殊資料 の取集等の補助 |
| 会計年度 任用職員 | 成島 由季子 | ボランティアの育成・ 指導等 |
| 会計年度 任用職員 | 雨宮 弘志 | 特殊資料の整理公開 |
| 会計年度 任用職員 | 佐藤 明子 | 業務補助 |
| 会計年度 任用職員 | 松井 あすか | |

兼 兼 兼

※副館長及び総務課職員は美術館勤務で文学館と兼務
※次長は文学館勤務で美術館と兼務

教育普及担当

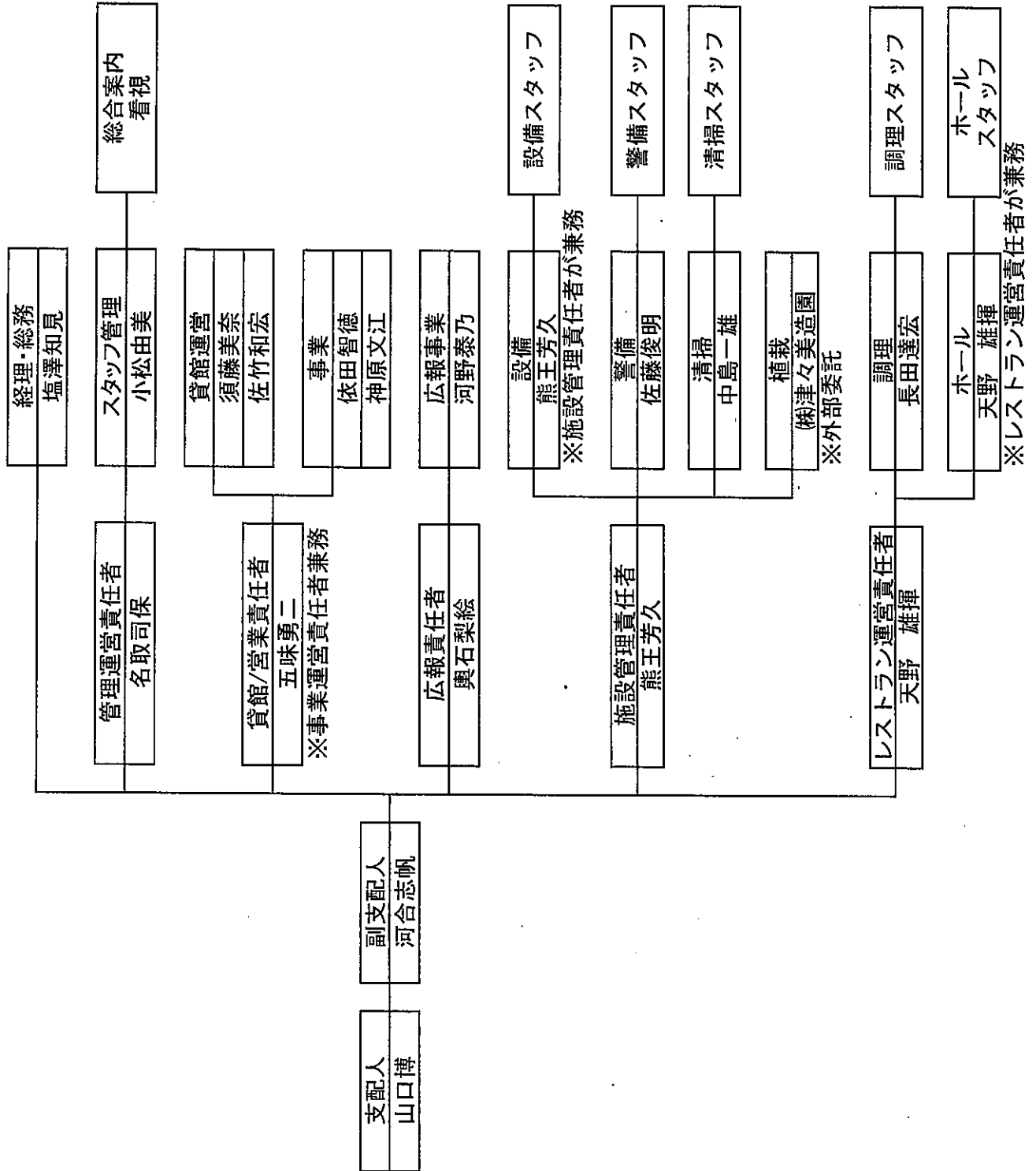
| 職名 | 氏名 | 主たる業務 |
|-------------|-------|--|
| 副主幹 リーダー | 野呂瀬 慎 | 担当の総括 学校教育、生涯学習機 関との連携・協力、教 育普及事業 |
| 主査 | 関口 慶子 | 学校教育・生涯学習 機関との連携協力、教 育普及事業 |
| 主任 | 須々木 渚 | 学校教育・生涯学習 機関との連携協力、教 育普及事業 |

文学館協力会

| 職名 | 氏名 | 主たる業務 |
|-----------|--------|-------|
| 協力会 職員 | 千国 ちふみ | 協力会業務 |

(短)

| 職名 | 氏名 | 主たる業務 |
|--------------|--------|-------------------------------------|
| 副主幹 リーダー | 小林 幸代 | 担当の総括 図書、逐次刊行物の 評価・公開 |
| 主査 | 高木 美和 | 文献検索システムの 管理、逐次刊行物の 受入・管理 |
| 専門員 | 水上 百合子 | 図書・視聴覚資料の整 理・登録、ソフトアレン ス事例の公開 |
| 会計年度 任用職員 | 内藤 るか | 資料等の整理 閲覧室カウンター業務 |
| 会計年度 任用職員 | 白倉 美紀子 | 資料等の整理 閲覧室カウンター業務 |
| 会計年度 任用職員 | 志村 彩夏 | 資料等の整理 閲覧室カウンター業務 |
| 会計年度 任用職員 | 千野 国弘 | 資料等の整理 閲覧室カウンター業務 |



文学館の観覧者数の推移

常設展及び企画展の観覧者の状況は、次のとおりである。

| 年度 | 開館日数 | 常設展観覧者数 | 企画展観覧者数 | 合計 |
|----|-------|---------|---------|-----------|
| H1 | 34 | 10,008 | 42,544 | 52,552 |
| 2 | 298 | 79,124 | 20,233 | 99,357 |
| 3 | 296 | 59,616 | 22,059 | 81,675 |
| 4 | 292 | 46,945 | 21,047 | 67,992 |
| 5 | 291 | 41,812 | 8,271 | 50,083 |
| 6 | 290 | 44,279 | 29,874 | 74,153 |
| 7 | 294 | 35,409 | 14,885 | 50,294 |
| 8 | 294 | 31,536 | 16,804 | 48,340 |
| 9 | 291 | 29,730 | 8,205 | 37,935 |
| 10 | 293 | 32,209 | 15,433 | 47,642 |
| 11 | 296 | 20,652 | 9,832 | 30,484 |
| 12 | 299 | 19,258 | 7,786 | 27,044 |
| 13 | 225 | 17,901 | 10,259 | 28,160 |
| 14 | 301 | 19,487 | 8,805 | 28,292 |
| 15 | 302 | 18,641 | 8,535 | 27,176 |
| 16 | 302 | 18,117 | 12,790 | 30,907 |
| 17 | 303 | 15,008 | 7,232 | 22,240 |
| 18 | 311 | 16,084 | 7,116 | 23,200 |
| 19 | 311 | 19,676 | 9,795 | 29,471 |
| 20 | 307 | 14,908 | 9,416 | 24,324 |
| 21 | 295 | 19,374 | 13,993 | 33,367 |
| 22 | 307 | 21,085 | 17,983 | 39,068 |
| 23 | 311 | 17,280 | 8,371 | 25,651 |
| 24 | 311 | 24,660 | 4,641 | 29,301 |
| 25 | 306 | 23,749 | 5,620 | 29,369 |
| 26 | 308 | 41,209 | 39,356 | 80,565 |
| 27 | 310 | 18,763 | 4,758 | 23,521 |
| 28 | 306 | 18,358 | 6,315 | 24,673 |
| 29 | 304 | 22,121 | 4,121 | 26,242 |
| 30 | 303 | 19,736 | 4,698 | 24,434 |
| R1 | 274 | 22,538 | 11,466 | 34,004 |
| R2 | 258 | 15,591 | 13,628 | 29,219 |
| R3 | 273 | 13,548 | 5,599 | 19,147 |
| R4 | 212 | 16,336 | 4,734 | 21,070 |
| R5 | 133 | 18,559 | 20,704 | 39,263 |
| 計 | 9,841 | 903,307 | 431,470 | 1,299,882 |

R4年12月1日～R5年4月30日
空調改修工事の為臨時休館
1月末現在(4月1日～4月30日臨時休館)

令和5年度常設展観覧者数

| 月 | 開館日数 | 観覧者数 | 1日平均 |
|----|------|--------|---------|
| 4 | 0 | 0 | #DIV/0! |
| 5 | 27 | 2,175 | 81 |
| 6 | 26 | 1,531 | 59 |
| 7 | 26 | 2,110 | 81 |
| 8 | 28 | 4,076 | 146 |
| 9 | 26 | 2,686 | 103 |
| 10 | 26 | 1,222 | 47 |
| 11 | 26 | 3,269 | 126 |
| 12 | 21 | 955 | 45 |
| 1 | 21 | 535 | 25 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 計 | 227 | 18,559 | 82 |

令和4年度常設展観覧者数

| 月 | 開館日数 | 観覧者数 | 1日平均 |
|----|------|--------|-------|
| 4 | 26 | 1,260 | 48 |
| 5 | 27 | 3,234 | 120 |
| 6 | 26 | 1,869 | 72 |
| 7 | 27 | 1,993 | 74 |
| 8 | 27 | 2,768 | 103 |
| 9 | 27 | 1,406 | 52 |
| 10 | 26 | 1,341 | 52 |
| 11 | 26 | 2,465 | 95 |
| 12 | 0 | 0 | ##### |
| 1 | 0 | 0 | ##### |
| 2 | 0 | 0 | ##### |
| 3 | 0 | 0 | ##### |
| 計 | 212 | 16,336 | 77 |

| | | | |
|----------|-----|--------|----|
| 9月 まで | 212 | 16,336 | 77 |
|----------|-----|--------|----|

前年同期比 113.6%

観覧者(常設展+企画展+特設展+新収蔵品展)

合計 1,684,670名

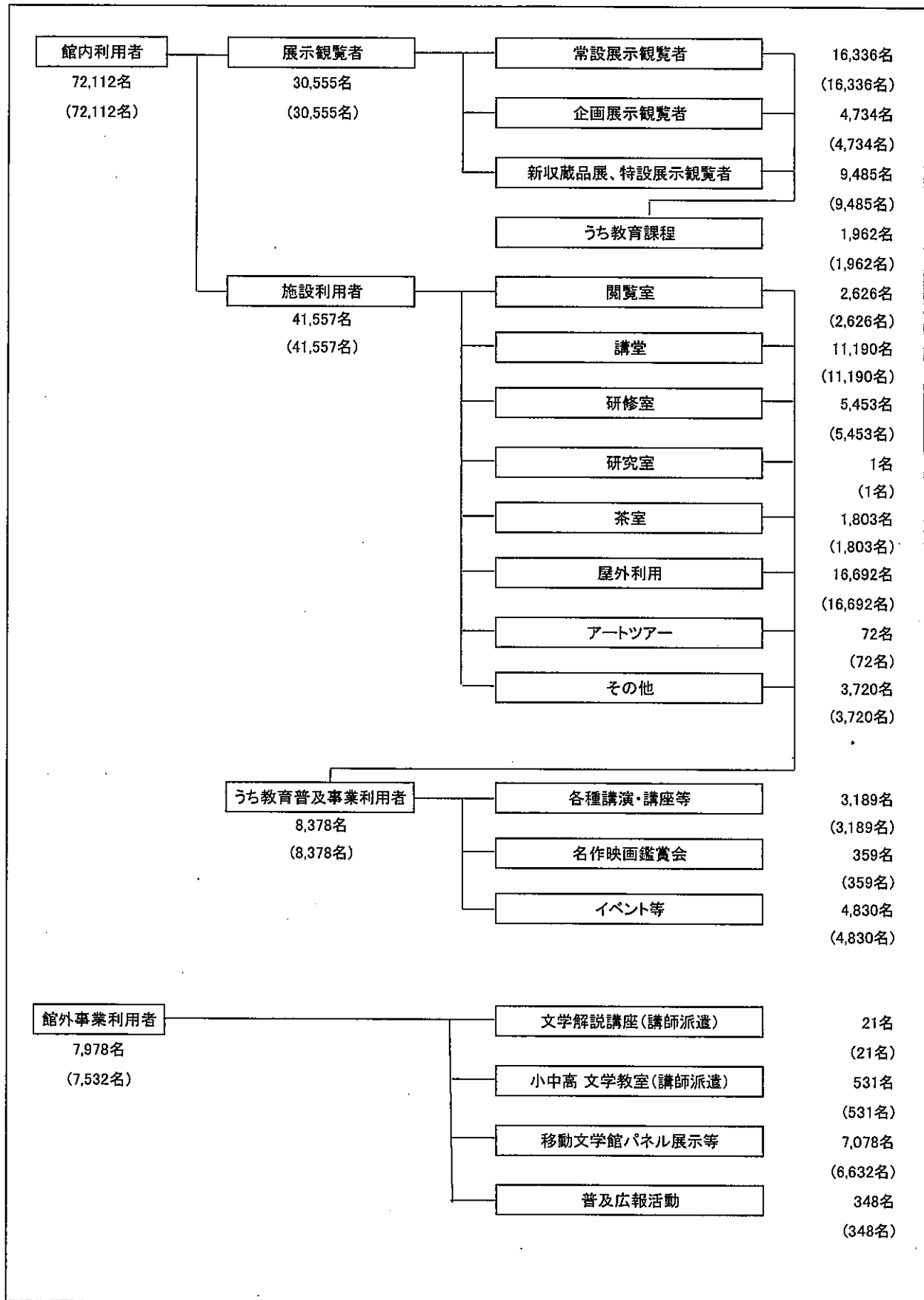
| | |
|---------|---------|
| 特設展観覧者数 | 270,563 |
|---------|---------|

| | |
|-----------|--------|
| 新収蔵品展観覧者数 | 79,330 |
|-----------|--------|

文学館における「利用者」の状況

※令和4年12月1日～令和5年4月30日の期間は空調工事につき臨時休館のため実績は11月末時点

令和4年度実績 ()内は令和5年1月末時点 ※12月より3月末まで休館したため ()内の数字に動きなし

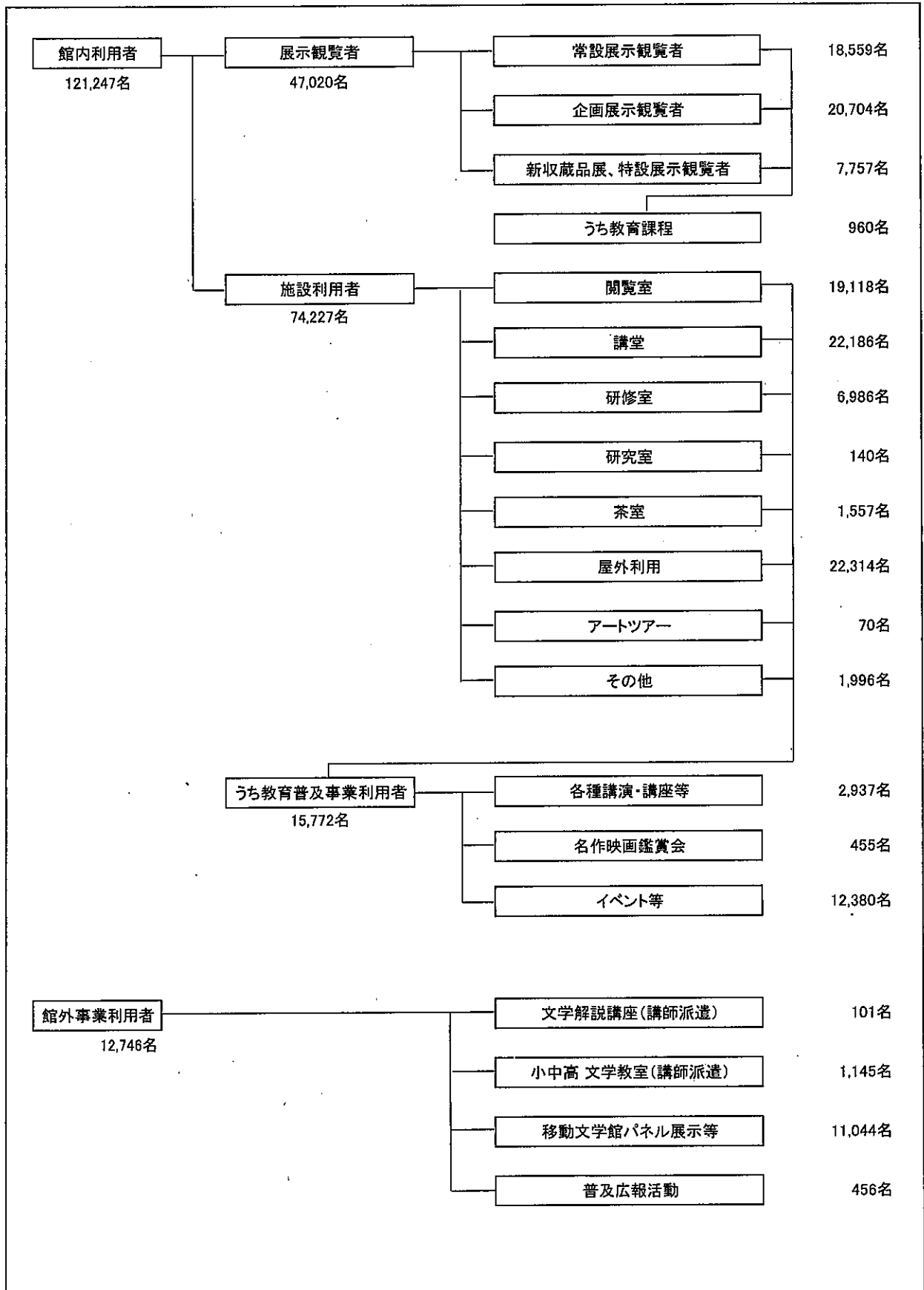


○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

文学館における「利用者」の状況

※令和4年12月1日～令和5年4月30日の期間は空調工事につき臨時休館。R5年度は5月1日より開館。

令和6年1月末現在



○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

企画展観覧者数

| 年度 | 企画展名 | 開催日数 | 観覧者数 | 1日平均 |
|----|--|-------|---------|------|
| H1 | 山梨の文学 | 87 | 42,544 | 489 |
| 2 | 書簡の文学 | 51 | 9,877 | 194 |
| 2 | 樋口一葉展 | 33 | 10,356 | 314 |
| 3 | 旅の文学 | 33 | 4,694 | 142 |
| 3 | 芥川龍之介展 | 48 | 17,365 | 362 |
| 4 | 与謝野晶子と「明星」 | 38 | 9,471 | 249 |
| 4 | 飯田蛇笏展 | 56 | 11,576 | 207 |
| 5 | 現代の女性作家 | 42 | 8,271 | 197 |
| 6 | 山崎方代展 | 54 | 6,020 | 111 |
| 6 | 中村星湖展 | 54 | 5,842 | 108 |
| 6 | 近代文学とミレー展 | 51 | 18,012 | 353 |
| 7 | 井伏鱒二 | 68 | 10,294 | 151 |
| 7 | 田中冬二展 | 43 | 4,591 | 107 |
| 8 | 宇野千代の世界 | 33 | 8,865 | 269 |
| 8 | 北巨摩の文学 | 93 | 7,939 | 85 |
| 9 | 前田晁・田山花袋・窪田空穂 | 56 | 3,448 | 62 |
| 9 | 現代歌人の宴 | 56 | 4,757 | 85 |
| 10 | 画文交響 飯田蛇笏をめぐる画人たち | 55 | 8,334 | 152 |
| 10 | 山本周五郎の世界 | 56 | 7,099 | 127 |
| 11 | やまなし・女性の文学 | 56 | 4,586 | 82 |
| 11 | 山梨の文学-21世紀へ- | 91 | 5,246 | 58 |
| 12 | 画文交響 明治末期から大正中期へ | 56 | 2,835 | 51 |
| 12 | 太宰治と檀一雄 | 56 | 4,951 | 88 |
| 13 | 夏目漱石展 | 57 | 5,853 | 103 |
| 13 | 富士百景 | 54 | 4,406 | 82 |
| 14 | 芭蕉展 | 33 | 4,297 | 130 |
| 14 | 松本清張と木々高太郎 | 56 | 4,508 | 81 |
| 15 | 中里介山「大菩薩峠」の世界 | 57 | 3,514 | 62 |
| 15 | 芥川龍之介と菊池寛・久米正雄 | 56 | 5,021 | 90 |
| 16 | 樋口一葉展Ⅰ | 44 | 4,165 | 95 |
| 16 | 樋口一葉展Ⅱ | 55 | 8,625 | 157 |
| 17 | 「赤い鳥」と「少年倶楽部」の世界 | 52 | 3,090 | 59 |
| 17 | 山の文学展 | 56 | 4,142 | 74 |
| 18 | 辻邦生展 | 53 | 2,902 | 55 |
| 18 | 正岡子規とその時代 | 57 | 4,214 | 74 |
| 19 | 高村光太郎 いのちと愛の軌跡 | 53 | 4,792 | 90 |
| 19 | 宮沢賢治 若き日の手紙 | 53 | 5,003 | 94 |
| 20 | 芥川龍之介の手紙 敬愛する友 恒藤恭へ | 53 | 3,178 | 60 |
| 20 | 飯田龍太展 | 53 | 6,238 | 118 |
| 21 | 太宰治展 | 52 | 7,544 | 145 |
| 21 | 樋口一葉と甲州 | 59 | 6,449 | 109 |
| 22 | 山崎方代展 | 50 | 3,589 | 72 |
| 22 | くじらぐもからチックタックまで-小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展- | 31 | 10,495 | 339 |
| 22 | 井伏鱒二と飯田龍太 | 53 | 3,899 | 74 |
| 23 | 文芸映画のたのしみ | 45 | 4,042 | 90 |
| 23 | 深沢七郎の文学 | 47 | 4,329 | 92 |
| 24 | 石川啄木 | 52 | 4,641 | 89 |
| 25 | 与謝野晶子展 | 53 | 5,620 | 106 |
| 26 | 村岡花子展 | 69 | 34,844 | 505 |
| 26 | 谷崎潤一郎展 | 54 | 4,512 | 84 |
| 27 | 俳句百景展 | 60 | 4,758 | 79 |
| 28 | 北杜夫展 | 59 | 6,315 | 107 |
| 29 | 津島佑子展 | 53 | 4,121 | 78 |
| 30 | 草野心平展 | 56 | 4,698 | 84 |
| R1 | 宮沢賢治展 | 55 | 11,466 | 208 |
| R2 | 林真理子展 | 64 | 13,628 | 213 |
| R3 | ミステリーの系譜 | 57 | 5,599 | 98 |
| R4 | 樋口一葉展 生誕150年 | 59 | 4,734 | 80 |
| R5 | ふしぎ駄菓子屋銭天堂へようこそ | 63 | 20,704 | 329 |
| | | | | |
| | | | | |
| 計 | | 3,199 | 456,908 | 143 |

特設展観覧者数

| 年度 | 名 称 | 開催日数 | 観覧者数 | 一日平均 |
|----|---|-------|---------|------|
| H2 | 「山梨と高浜虚子」 | 33 | 8,785 | 266 |
| 3 | 「辻嵐外と嵐外十哲」 | 33 | 8,996 | 273 |
| 3 | 「たけくらべの世界」 | 36 | 10,378 | 288 |
| 3 | 「映画と文学」 | 36 | 9,814 | 273 |
| 3 | 「文学者の扇面と年賀状 子規がいて、漱石がいて、さうして…」 | 22 | 2,327 | 106 |
| 4 | 新収蔵資料より「近世の俳人 五味可都里と辻嵐外」 | 48 | 12,152 | 253 |
| 4 | 「佐野四郎の世界－富士見ゆる丘より」 | 54 | 6,650 | 123 |
| 5 | 「やまなしの自然と文学」 | 56 | 6,973 | 125 |
| 5 | 「五味可都里と蟹守の周辺」 | 53 | 8,648 | 163 |
| 5 | 「芥川龍之介 草稿の世界」 | 66 | 8,876 | 134 |
| 5 | 「野尻抱影 書簡の世界」 | 51 | 5,519 | 108 |
| 6 | 「歌人の手紙」 | 33 | 4,220 | 128 |
| 7 | 「やまなし文学賞の受賞者たち」 | 44 | 3,756 | 85 |
| 7 | 「中村星湖への手紙」 | 56 | 3,324 | 59 |
| 8 | 「『豹・レオパール』の詩人たち 一宮田柾夫資料より一」 | 24 | 1,861 | 78 |
| 8 | 「蛇笏山脈の人々 一西島麦南・松村蒼石・榎本虎山一」 | 57 | 3,629 | 64 |
| 9 | 「芥川龍之介の草稿」 | 55 | 5,932 | 108 |
| 9 | 「村松定孝氏収集」 | 32 | 1,274 | 40 |
| 10 | 「児童文学－山梨ゆかりの作家群－」 | 50 | 3,778 | 76 |
| 10 | 「鳴山草平資料」 | 23 | 757 | 33 |
| 11 | 「山岳関連名著展 一百瀬舜太郎コレクションより一」 | 41 | 4,202 | 102 |
| 12 | 「脚本家・菊島隆三と竹内勇太郎」 | 34 | 2,019 | 59 |
| 12 | 「山梨の文芸誌一大正から昭和初期」 | 42 | 1,068 | 25 |
| 13 | 「やまなしの児童文芸 一「赤い鳥」「金の船／金の星」「童話」を中心に一」 | 41 | 2,086 | 51 |
| 13 | 「山梨の文芸誌一戦後から現代まで一」 | 41 | 1,121 | 27 |
| 14 | 足立源一郎『日本の山旅』スケッチ画と山の文学 | 66 | 4,013 | 61 |
| 15 | 山梨の農民文学 | 38 | 1,947 | 51 |
| 16 | 山崎方代 歌と書の世界 | 27 | 2,862 | 106 |
| 17 | 山梨のアラギ派歌人展 伊藤左千夫・三井甲之・神奈桃村・岡千里・日原無限を中心に | 34 | 1,393 | 41 |
| 18 | 「赤毛のアン」の世界へ | 33 | 4,138 | 125 |
| 19 | 天空をめぐる物語 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」 | 33 | 4,100 | 124 |
| 20 | すべての子どもたちへ 芥川龍之介「蜘蛛の糸」 | 32 | 2,909 | 91 |
| 21 | H・Cアンデルセン「人魚のお姫さま」-青い瞳の涙- | 30 | 3,027 | 101 |
| 21 | 収蔵名品展（常設展観覧料で見せた） | 44 | 3,007 | 68 |
| 23 | 手紙を書こう 作家の手紙をお手本に | 35 | 2,686 | 77 |
| 23 | 樋口一葉 山梨への手紙 | 32 | 2,127 | 66 |
| 24 | フランダースの犬 | 33 | 5,034 | 153 |
| 24 | 飯田蛇笏展 | 53 | 6,553 | 124 |
| 24 | 至宝展（国文祭関連で常設展観覧料で見せた） | 54 | 3,490 | 65 |
| 25 | 富士山と文学 | 63 | 4,549 | 72 |
| 25 | かいけつゾロリ展 | 33 | 8,621 | 261 |
| 26 | 本のおしゃれ展（特別コーナー村岡花子と柳原白蓮） | 34 | 10,309 | 303 |
| 27 | 田中冬二展 なつかしい日本の風景 | 50 | 3,695 | 74 |
| 27 | 芥川龍之介の夏休み | 41 | 4,661 | 114 |
| 28 | 辻 嵐外 甲州の近世俳人 | 46 | 2,514 | 55 |
| 28 | 宮沢賢治 保阪嘉内への手紙 | 47 | 5,367 | 114 |
| 29 | 歿後50年 山本周五郎展 | 45 | 3,920 | 87 |
| 29 | 作家のデビュー展 | 44 | 8,322 | 189 |
| 30 | 生誕120年 井伏鱒二展 | 45 | 3,916 | 87 |
| 30 | 童話の花束 子どもたちへの贈り物 | 39 | 5,242 | 134 |
| R1 | 太宰治 生誕110年 | 51 | 7,225 | 142 |
| R1 | 山と水の文学 | 39 | 3,263 | 84 |
| R2 | 飯田龍太展 生誕100年 ※コロナの影響で春から冬へ延期 | 50 | 2,760 | 55 |
| R2 | 文学の中の富士山 ※コロナの影響でR3年度へ延期 | - | - | - |
| R3 | 作家の愛用品 | 50 | 2,709 | 54 |
| R3 | 文学の中の富士山 ※コロナの影響で会期短縮 | 19 | 1,005 | 53 |
| R4 | 芥川龍之介 生誕130年 旅の記憶 | 51 | 5,287 | 104 |
| R4 | 文学雑誌からZINE(ジン)へ | 39 | 4,198 | 108 |
| R5 | 文豪の筆跡 館蔵の名品から | 37 | 3,039 | 82 |
| R5 | それぞれの源氏物語 | 44 | 4,530 | 103 |
| | 計 | 2,472 | 270,563 | 109 |

令和6年度 企画展・特設展（予定）

| 展覧会名 | 会期 | 日数 | 内 容 | 備 考 |
|--|---|------|--|-----------------------|
| 1 開館35周年記念 特設展 「中村星湖展 生誕140年 歿後50年」 | 令和6年 4月27日 (土) ～ 6月23日 (日) | 49日間 | 明治40年代、自然主義文学の隆盛期に小説「少年行」で文壇に登場した中村星湖(1884～1974 山梨県富士河口湖町生まれ)の生涯と作品を取り上げます。小説だけでなく、フローベル、モーパッサンの翻訳、さらに民衆芸術、農民文学運動に関わる評論活動など、多彩な業績を紹介します。 | 自主企画 ・常設展の一環として開催。 |
| 2 開館35周年記念 特設展 「文学はおいしい」(仮称) | 7月13日 (土) ～ 8月25日 (日) | 39日間 | 文学作品には、食の場面が多く登場します。作家たちの食へのこだわりを探ると、好き嫌いがあつたり、忘れられない思い出の食べ物があつたり……。料理本を手がける作家も意外に多いのです。芥川龍之介と甲州葡萄、太宰治と甲府の豆腐屋さん……。文学のおいしいシーンを紹介します。 | 自主企画 ・常設展の一環として開催。 |
| 3 開館35周年記念 企画展 「金子兜太展」(仮称) | 9月14日 (土) ～ 11月24日 (日) | 62日間 | 金子兜太(1919～2018 埼玉県小川町生まれ)は、従軍体験を経て、社会性俳句、前衛俳句運動を担う若手俳人として注目を集めました。以後、昭和・平成の俳壇に大きな足跡を残し、歿後5年を経た今も影響力を与え続けています。俳句作品をはじめ、飯田龍太ら同時代の俳人や文学者との交流、俳人の粹をこえた幅広い活動の様子を取り上げます。 | 自主企画 |
| 4 新収蔵品展 | 令和7年2 月1日 (土) ～ 3月23日 (日) | 43日間 | 令和6年に新たに収蔵した資料を公開します。 | 自主企画 |

令和6年度 資料情報課事業計画（案）

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

あわせて、閲覧室の機能の周知と利用促進及び資料収集の推進を図る。

| 展示名及び概要 | 展示期間 |
|---|--|
| <p>もっと知りたい中村星湖</p> <p>「特設展 中村星湖展」の内容にあわせた、図書、雑誌、関連資料の展示を通じて、さまざまな角度から中村星湖を紹介する。</p> | <p>2024年 4月26日(金)～ 6月23日(日)</p> |
| <p>たべもの百景(仮)</p> <p>「特設展 文学はおいしい」にあわせて、作家が好んだ食べ物、作品に描かれたたべものなど、文学作品とたべものの世界を幅広く紹介する。</p> | <p>2024年 7月12日(金)～ 8月25日(日)</p> |
| <p>俳句への誘い(仮)</p> <p>「企画展 金子兜太」にあわせて、金子兜太関連資料、また俳句に関する図書、雑誌のほか、山梨県内の俳句に関する資料も紹介する。</p> | <p>2024年 9月13日(金)～ 11月24日(日)</p> |
| <p>児童文学の翻訳者たち(仮)</p> <p>海外児童文学を日本語に翻訳し紹介した作家と、その作品(図書、雑誌)を紹介する。</p> | <p>2025年 1月2日(木)～ 3月23日(日)</p> |

◇山梨ゆかりの文学者 資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、著作や関連資料を紹介する。

| 展 示 名 | 展 示 期 間 |
|--|--------------------------|
| 高浜虚子 生誕150年 | 2024年6月5日(水)～7月10日(水) |
| 時代小説を読む | 2024年8月28日(水)～9月11日(水) |
| 誕生日にちなんだ資料紹介 山崎方代 生誕110年 (11月1日生まれ) | 2024年11月27日(水)～12月25日(水) |
| 野尻抱影 生誕140年 | 2025年3月26日(水)～4月23日(水) |

◇ 季節・行事等に関するミニ展示

「七夕と星の展示」 6月26日(水)～7月10日(水)

「クリスマスの展示」 12月4日(水)～12月25日(水)

※その他、講座、講演会開催時に講師の著作や関連資料を展示する。

◇ 閲覧室トーク

職員が閲覧室の利用方法やサービスなどを紹介し、文学館及び閲覧室の周知を図る。

内容:閲覧室の紹介、画像情報システム・文献検索システム端末の操作説明、書庫の案内、特色ある資料(図書・雑誌)の紹介など

定員:10名程度 時間:30分程度(午後開催予定)

第1回 2024年 5月5日(日)

第2回 2024年 7月14日(日)

第3回 2024年 8月11日(日・祝日)山の日

第4回 2024年11月20日(水)県民の日

指定管理令和6年度の事業計画

山梨県立美術館・文学館・芸術の森公園指定管理者

芸術の森みらいデザイン

令和6年度の指定管理事業

＜指定管理者について＞

令和6年度より、指定管理業務からレストランが分離し、
(株)SPSやまなしと、甲府ビルサービス(株)の2社による新たな共同事業体
「芸術の森みらいデザイン」が運営を行います。

主な取組み

- ◆ 公園やカフェスペースなどのパブリックスペースを活用したイベント
- ◆ ミュゼ・マルシェや落語ぶんがく亭など、実績あるイベントの継続実施
- ◆ 芸術の森公園の広報による新たな利用者の獲得
- ◆ 「ミレーの美術館」を前面に打ち出した広報活動
- ◆ 旅行業者への観光ツアープランの提案
- ◆ 貸館使用料へのキャッシュレス決済の拡大による利便性向上¹⁰ など

令和5年度 企画展・特設展の実施と予定

| | 展覧会名 | 会期・日数 | 内 容 | 観覧者数 |
|---|---|--|---|---------|
| 1 | <p>特別展示 文豪の筆跡 * 自主企画 常設展の一環として開催</p> | <p>令和5年 5月11日(月)～6月11日(日) 37日間</p> | <p>書は人なり―書かれた文字には、その人の性格や人柄があらわれるといえます。 森鷗外の鉛筆で書かれた楷書の文字が並ぶ原稿、夏目漱石が新聞社の専属作家になる際の条件や要望を毛筆で綴った書簡のほか、正岡子規、谷崎潤一郎ら文豪の直筆資料から、個性あふれる筆跡の魅力をご覧いただきました。資料にひそむドラマチックな背景を紹介しました。</p> | 3,039名 |
| 2 | <p>企画展 ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ * 巡回展</p> | <p>令和5年 7月15日(土)～9月24日(日) 63日間</p> | <p>「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」は、作者：廣嶋玲子、挿絵:jyaja (ジャジャ)による児童小説で、現在、第20巻まで発売されている人気シリーズです。 会場には、女主人紅子が営む「銭天堂」のカウンターなど、原作イラストを元にしたディスプレイで作品の舞台を再現しました。会場内だけでなく、芸術の森公園内にキャラクターのスタンディを設置するなど、屋内外に楽しいフotpスポットを散りばめました。</p> | 20,704名 |
| 3 | <p>特設展 それぞれの源氏物語 * 自主企画 常設展の一環として開催</p> | <p>令和5年 10月28日(土)～12月17日(日) 44日間</p> | <p>世界最古の長編小説と言われる「源氏物語」は、後世の文学、美術に多大な影響を与え、時代を超えて人々を惹きつけてきました。 三度の現代語訳に挑んだ与謝野晶子、原本に沿った訳に拘った谷崎潤一郎、やさしい言葉で読者に語りかけた円地文子など、近代以降、多くの作家が挑んだ「源氏物語」の現代語訳の変遷を、原稿、書画、書簡などで紹介しました。</p> | 4,530名 |
| 4 | <p>新収蔵品展 * 観覧料無料</p> | <p>令和6年 1月27日(土)～3月24日(日) 50日間</p> | <p>令和4年度から令和5年度にかけて、当館が新たに収蔵した資料の中から、芥川龍之介、太宰治の書簡、飯田蛇笏、飯田龍太の書画などの資料を展示します。</p> | 開催中 |

令和5年度 教育普及事業の実施状況と今後の予定（1月末現在）

| 分類 | 事業名 | 内容 | 開催日 | 会場 | 参加人数 | 合計 | |
|--------|---|-----------------------------|--|---------------|------|------|------|
| 年間文学講座 | 講座1 『源氏物語』『須磨』『明石』巻一光源氏の挫折と復活を周辺人物との関わりから読むー 講師：池田 尚隆 (山梨大学名誉教授) | ①光源氏と「須磨」巻の紫の上 | 5月27日（土） | 講堂 | 42人 | 347人 | |
| | | ②光源氏と藤壺・朧月夜 | 6月24日（土） | | 55人 | | |
| | | ③光源氏と左大臣・頭中将 | 7月29日（土） | | 41人 | | |
| | | ④光源氏と六条御息所・花散里 | 8月26日（土） | | 42人 | | |
| | | ⑤光源氏と明石入道 | 9月30日（土） | | 39人 | | |
| | | ⑥光源氏と桐壺院・朱雀帝・弘徽殿太后 | 10月28日（土） | | 32人 | | |
| | | ⑦光源氏と明石の上 | 11月25日（土） | | 45人 | | |
| | | ⑧光源氏と「明石」巻の紫の上 | 12月23日（土） | | 51人 | | |
| | 講座2 「近代文学における「光源氏」的な男たち」 講師：古川 裕佳 (都留文科大学教授) | ①志賀直哉「児を盗む話」 女兒を育てること | 5月12日（金） | 研修室 | 34人 | 227人 | |
| | | ②志賀直哉「暗夜行路」のファミリーロマンス | 6月9日（金） | | 30人 | | |
| | | ③志賀直哉「暗夜行路」の姦通 | 7月7日（金） | | 31人 | | |
| | | ④里見弴「多情仏心」の空虚な中心 | 8月4日（金） | | 26人 | | |
| | | ⑤里見弴「多情仏心」女性の配置から | 9月15日（金） | | 17人 | | |
| | | ⑥谷崎潤一郎「痴人の愛」 育った妻の裏切り | 10月13日（金） | | 34人 | | |
| | | ⑦谷崎と源氏物語 | 11月10日（金） | | 27人 | | |
| | | ⑧谷崎潤一郎「台所太平記」 文豪最後の夢 | 12月8日（金） | | 28人 | | |
| | 講座3 講師：当館学芸員 | ①資料から読む作家の交友 講師：高室有子 | 6月4日（日） | 研修室 | 32人 | 75人 | |
| | | ②佐佐木茂索の日記を読む 講師：保坂雅子 | 9月10日（日） | | 9人 | | |
| | | ③「源氏物語」現代語訳のたのしみ 講師：中野和子 | 11月12日（日） | | 34人 | | |
| | 特設展・企画展関連事業 | 「文豪の筆跡ー館蔵の名品からー」関連事業 | 講演会「文学資料をどう読み解くかー毛筆・ペン・鉛筆の間」 講師：中島国彦 (早稲田大学名誉教授) | 5月5日 (金・祝) | 講堂 | 86人 | 854人 |
| | | 「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」ワークショップ | ワークショップ「ガラス工芸でサンキャッチャーを作ろう」 講師：深沢和美 | 8月6日（日） | 研修室 | 47人 | |
| | | 「それぞれの源氏物語」関連事業 | 朗読公演会 紺野美沙子の朗読座「源氏物語～紫のゆかりの物語～」 | 10月29日（日） | 講堂 | 405人 | |
| | | | 講演会「『源氏物語』その面白さの秘密」 講師：林望（国文学者・作家） | 11月11日（土） | | 184人 | |
| | | | 講演会「樋口一葉の和歌と『源氏物語』」 講師：兵藤裕己 (学習院大学名誉教授) | 12月9日（土） | | 111人 | |
| | ワークショップ「つまみ細工で梅アクセサリーを作ろう」 講師：飯島 薫 | 12月17日（日） | 研修室 | 21人 | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--------------------|--------------------------------------|---------------------------|-------------------|---------|---------|
| 鑑賞会 名作映画 | 一般向け | 「桜田門外の変」 | 10月7日(土) | 講堂 | 162人 | 455人 |
| | | 「キューポラのある街」 | 12月10日(日) | | 154人 | |
| | 子ども向け | 「西の魔女が死んだ」 | 8月5日(土) | | 139人 | |
| 文学創作教室 | 小さな本(ZINE)作り教室 | 講師:吉田朝麻 | 7月22日(土) | 研修室 | 35人 | 178人 |
| | 初心者短歌教室 | ① 講師:三枝浩樹 | 7月1日(土) | | 18人 | |
| | | ② 講師:三枝浩樹 | 7月8日(土) | | 18人 | |
| | 小説創作教室 | ① 講師:川上健一 | 6月3日(土) | | 25人 | |
| | | ② 講師:川上健一 | 10月14日(日) | | 18人 | |
| | 短歌講座 | ① 講師:三枝昂之 | 9月2日(土) | | 25人 | |
| ② 講師:三枝浩樹 | | 12月16日(土) | 39人 | | | |
| ワークショップ | 川柳を詠もう | 講師:井上信太郎 | 10月22日(日) | 研修室 | 20人 | 40人 |
| | 朗読教室 | 原きよ 朗読教室 ～声に乗せて味わう児童文学～ 講師:原きよ | 1月28日(日) | | 20人 | |
| 出前講座 | 山梨の文学解説講座 | 都留文科大学、峡南国語部会、ことぶき勤学院 | 3回 | | 101人 | 1,246人 |
| | 小中高文学教室 | 県立中央高校 ほか | 15回 | | 1,145人 | |
| 文学解説 | 展示解説(一般向け) | 河口湖教協図書館部会 | 1回 | 常設展 特設展 企画展 | 9人 | 1,009人 |
| | 展示解説(小中高大学生向け) | 山梨英和中・高校文芸部ほか | 26回 | | 1,000人 | |
| チャレンジクイズ | 特別展示チャレンジクイズ | 小中高一般 | 5月1日～6月11日 | 特別展示 | 676人 | 11,883人 |
| | 企画展チャレンジクイズ | 小中高一般 | 7月15日～9月24日 | 企画展 | 9,595人 | |
| | 特設展 チャレンジクイズ | 小中高一般 | 10月28日～12月17日、1月27日～3月24日 | 特設展 | 569人 | |
| | チャレンジ文学館(わたしはだあれ?) | 小中高一般 | 通年 | 常設展 | 899人 | |
| | 文学の柱クイズ | 小中高一般 | 通年 | 芸術の森公園 | 144人 | |
| 実習受入 | ジュニアインターンシップ | 中高生(5人×2日、6人×1日) | 7月26日～28日 | | 16人 | 52人 |
| | 博物館実習 | 学芸員資格取得単位の実習(6人×6日) | 7月19日～23日、25日 | | 36人 | |
| その他 | アウトリーチ移動文学館) | 小中高 29校 | 通年 | | 11,044人 | 12,757人 |
| | ZINEフェスティバル | 各種ZINEの展示、交流会 | 7月23日 | 研修室 | 225人 | |
| | 博学連携広報活動 | 校長会・国語部会での普及事業説明 | | | 456人 | |
| | 教育センター共催研修 | ZINE作り・展示室見学 | 7月27日 | 研修室 | 20人 | |
| | 山梨県立図書館共催企画 | 対談「三枝昂之館長×金田一秀穂館長スペシャルトーク」 | 8月11日(金・祝) | 講堂 | 157人 | |
| | 教師のための学習会 | それぞれの源氏物語、新収蔵品展 | 11月16日(木) | 展示室 | 13人 | |
| | やまなし文学賞 | 運営委員会、表彰式 | 5月、1月、3月 | 研修室 | 30人 | |
| | やまなし文学賞 | 作品応募(一般621、青少年21) | 6月1日～11月30日 | | 642人 | |
| | 教育センター初任者研修 | 文学館の活用について | 10月20日(金) | | 170人 | |

令和5年度 閲覧室事業実施状況

◆ 閲覧室資料紹介

| | タイトル | 展示期間 | 備考 |
|---|----------------|-------------------------|------------------------|
| 1 | こどもの本のいま・むかし | 令和5年7月14日（金）～9月24日（日） | 企画展「ふしぎ駄菓子屋銭天堂へようこそ」関連 |
| 2 | 昇仙峡文学散歩 | 令和5年9月27日（水）～10月26日（木） | 常設展「昇仙峡名勝指定100年記念」関連 |
| 3 | 平安文学—源氏物語を中心に— | 令和5年10月28日（土）～12月17日（日） | 特設展「それぞれの源氏物語」関連 |
| 4 | 教科書に載った文芸作品 | 令和6年1月30日（火）～4月5日（金） | |

◆ 山梨の文学者資料紹介

| | 展示名 | 展示期間 | 備考 |
|---|--------------------------------|------------------------|-------------|
| 1 | 誕生日にちなんだ資料紹介 村岡花子（6月21日生まれ） | 令和5年6月21日（水）～7月12日（水） | 村岡花子 生誕130年 |
| 2 | 小林一三 生誕150年 | 令和5年9月27日（水）～10月26日（木） | 小林一三 生誕150年 |
| 3 | 誕生日にちなんだ資料紹介 菊島隆三（1月28日生まれ） | 令和6年1月17日（水）～2月4日（日） | |
| 4 | 誕生日にちなんだ資料紹介 季良枝（3月15日生まれ） | 令和6年3月1日（金）～3月24日（日） | |

◆ その他の資料紹介

| | タイトル | 展示期間 | 備考 |
|---|------------|-------------------------|-----------|
| 1 | 桜桃忌 | 令和5年6月16日（金）～6月20日（火） | 太宰治関係資料 |
| 2 | 七夕と星の展示 | 令和5年7月1日（土）～7月13日（木） | |
| 3 | 芥川と河童（河童忌） | 令和5年7月22日（土）～7月27日（木） | 芥川龍之介関係資料 |
| 4 | 蛇笏忌 | 令和5年9月29日（金）～10月6日（金） | 飯田蛇笏関係資料 |
| 5 | 一葉忌 | 令和5年11月17日（金）～11月26日（日） | 樋口一葉関連資料 |
| 6 | クリスマスの展示 | 令和5年12月8日（金）～12月24日（日） | |
| 7 | 周五郎忌 | 令和6年2月9日（金）～2月16日（金） | 山本周五郎関係資料 |
| 8 | 名作に見る富士山 | 令和6年2月20日（火）～2月28日（水） | 富士山関連資料 |

◆ 閲覧室トーク

閲覧室の利用方法やサービス、特色ある所蔵資料などを30分程度で紹介している。

7月23日（日）8名参加、8月19日（土）3名参加、11月20日（月・県民の日）12名参加で実施。

【閲覧室利用統計】

閲覧室利用状況(内訳)

単位:件 (R6.2.1現在)

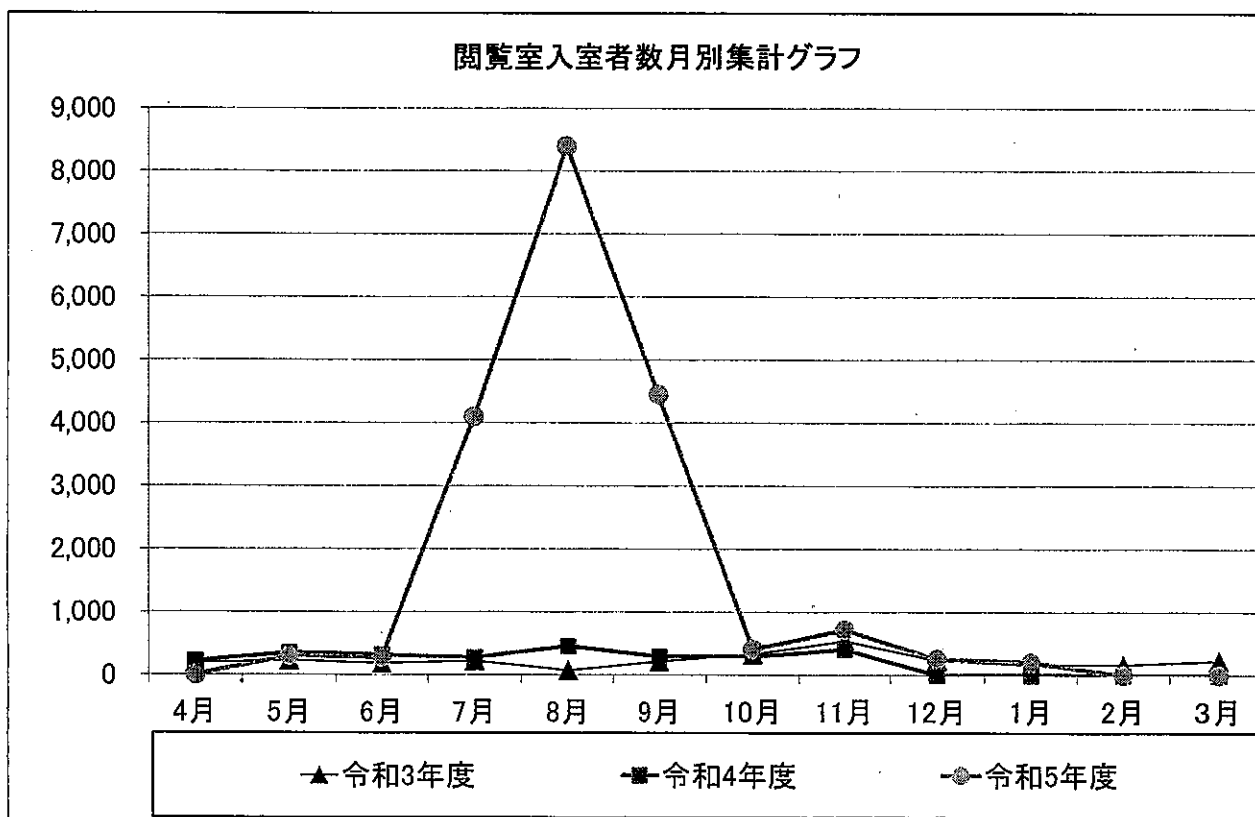
| | 開館 日数 | 入室者 | 閲覧 カード 発行数 | 閲覧者数 | 閲覧 冊数 | 調査 相談 | 電子式 複写 枚数 | マイク ロ複写 枚数 | 画像 検索 回数 | 資料 紹介 冊数 |
|-------|----------|--------|------------------|------|----------|----------|-----------------|------------------|----------------|----------------|
| 令和3年度 | 203 | 2,228 | 38 | 184 | 445 | 576 | 923 | 0 | 320 | 357 |
| 令和4年度 | 212 | 2,626 | 38 | 199 | 760 | 519 | 1,445 | 10 | 460 | 625 |
| 令和5年度 | 229 | 19,118 | 48 | 216 | 844 | 690 | 1,859 | 150 | 732 | 630 |

閲覧室入室者(月別)

単位:人 (R6.2.1現在)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 1日平均 入室者数 |
|-------|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|--------------|
| 令和3年度 | 191 | 229 | 185 | 224 | 74 | 215 | 332 | 543 | 235 | 165 | 163 | 227 | 2,783 | 10 |
| 令和4年度 | 220 | 356 | 314 | 278 | 460 | 292 | 298 | 408 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,626 | 12 |
| 令和5年度 | 0 | 302 | 277 | 4,101 | 8,404 | 4,453 | 407 | 721 | 255 | 198 | 0 | 0 | 19,118 | 83 |

閲覧室入室者数月別集計グラフ



調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)(月別)

単位:件 (R6.2.1現在)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 1日平均件数 |
|-------|----|----|----|----|-----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|--------|
| 令和3年度 | 52 | 82 | 53 | 88 | 29 | 57 | 58 | 80 | 77 | 45 | 74 | 71 | 766 | 3 |
| 令和4年度 | 71 | 61 | 47 | 52 | 59 | 45 | 46 | 84 | 14 | 22 | 18 | 11 | 530 | 3 |
| 令和5年度 | 29 | 73 | 66 | 69 | 103 | 74 | 59 | 114 | 47 | 56 | 0 | 0 | 690 | 3 |

複写枚数(電子式・マイクロ)(月別)

単位:枚 (R6.2.1現在)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 1日平均枚数 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-------|--------|
| 令和3年度 | 22 | 173 | 28 | 350 | 80 | 80 | 11 | 133 | 46 | 83 | 95 | 592 | 1,693 | 8 |
| 令和4年度 | 312 | 105 | 206 | 144 | 90 | 173 | 251 | 130 | 39 | 5 | 0 | 786 | 2,241 | 11 |
| 令和5年度 | 3 | 153 | 378 | 38 | 221 | 161 | 316 | 333 | 213 | 193 | 0 | 0 | 2,009 | 9 |

令和5年度 下半期 文学館協議会

山梨県立美術館・文学館・芸術の森公園指定管理者
SPS・桔梗屋・KBS共同事業体

◆目次

- ▶ 1. 令和5年度 下半期取組み
イベント企画 ～新たな企画～
- ▶ 2. サービス向上 研修実施
- ▶ 3. 安心・安全な施設の維持管理

1. 令和5年度 下半期取組み —イベント企画— ～新たな企画～

● 文学館：ぬりえを塗って、企画展にあそびに行こう！ 銭天堂展開幕（9月24日）

3/21・4/2・7/22の3回にわたって行った文学館アウトリーチ(出張文学館)にて、銭天堂「ぬりえ」配布を行った。企画展「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」の会期中(2023年7月15日(土)～9月24日(日))に、色を塗っていただいたものを文学館に持参した方に、ノベルティ（キャラクターのしおり）をプレゼントした。

完成した「ぬりえ」と「先生へのメッセージ」は、作者の廣嶋玲子氏、挿絵のjyajya氏に送付した。人気作家の人気作品とあってカラフルな「ぬりえ」や、「おとうさんとみています」「もっとよみたいのでたくさん書いてください」「ださがどれもおいしそう」等、思い思いのメッセージが多数集まった。



■ぬりえ配布枚数：3回 計679枚
・3/21 イオンモール甲府昭和
・4/2 イトヨーカドー甲府
・7/22 イオンモール甲府昭和

■ぬりえ戻り数
55枚(内コメントのみ9枚)
回収率8.1%

5

1. 令和5年度 下半期取組み —イベント企画— ～新たな企画～

● 茶室： 十二単着付けショー（11月4日）

特設展「それぞれの源氏物語」関連事業として、普段は身近に見ることが難しい王朝装束「十二単」の着装の実演を実施。十二単を通して源氏物語の舞台である平安時代・王朝文化のきらびやかな世界を知っていただき、展覧会へのイメージを深める機会とした。

着付けと出演は全国各地で実績のあるハクビ京都きもの学院に依頼。時代背景や着付けの所作等の解説付きで、実演終了後には着付けモデルとの記念撮影会を行った。参加者からは「貴重な経験ができた」「着物や王朝文化に興味を持つことができた」等の声をいただき、満足度の高いイベントとなった。

※参加者34名(申込40名) / 定員40名



5

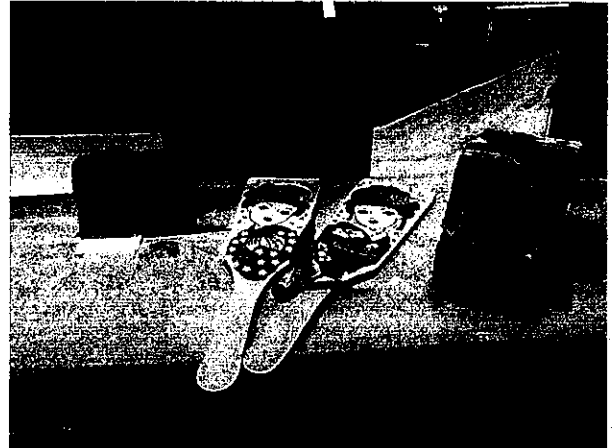
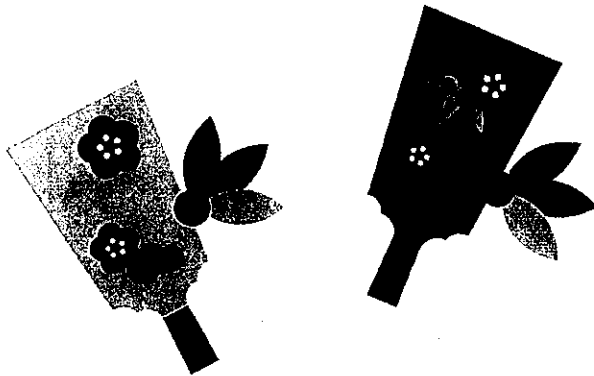
1. 令和5年度 下半期取組み イベント企画 ～新たな企画～

● 文学館：お正月あそび 羽子板 (1月2日・3日)

季節イベントの一つとして実施。文学館カウンターにて羽子板を貸し出して芸術の森公園で遊んでいただき、伝統的なお正月遊びを体験する機会を提供した。

参加者から「日本の伝統的な遊びを子供に体験させる機会となり、良い経験ができた。」「文学の中に羽子板という文字が出てきても、今は多数の子供が理解できない。親子で楽しむことができ貴重な時間になった」といった声をいただき、満足度の高いイベントとなった。

●参加人数：7組20名(大人12名、子供8名)



5

2. サービス向上 研修実施

●SPSやまなし 総合スタッフ外部研修 (11月27日)

休館日を利用して、総合案内カウンタースタッフ6名と運営担当者3名で研修を行った。今回はお客様視点で考えることをテーマに実施。サントリー登美の丘ワイナリーの見学ツアーに参加し、体験からの気づきを美術館に置き換えてディスカッションを行うことで、サービススキルの強化を図った。

一例として、普段、チケット販売でお客様に質問されることが多い「割引サービスの案内」や「タクシーの連絡先」をわかりやすく表示、案内していくことで、サービススキルの向上を図ることとした。

今後、研修は、看視スタッフへも広げ、継続していくことでサービススキル向上につなげていく。



研修の様子

14

2. サービス向上 研修実施

●SPSやまなし ミュージアムアテンダント研修 (12月11日)

休館日を利用して、避難訓練とサービススキル向上を目的としたSPS独自の研修を実施した。避難訓練では、地震が起こった後に、美術館で火災が出たと想定。甲府西消防署の消防隊員に避難訓練の状況を確認いただき、緊急時の対応方法や、訓練の方法などのアドバイスをいただいた。また、119番通報の訓練も実施し、実際に119番通報することでより実践的な訓練とした。県職員も含めた全体訓練は令和6年2月に実施予定。

サービスワークでは、指定管理者として求められている業務と役割を再共有。看視の現場は、個人プレーではなく、あらゆる部署、ポジションに一人の考動が影響することを確認した。



避難訓練の様子

サービスワークの様子

14

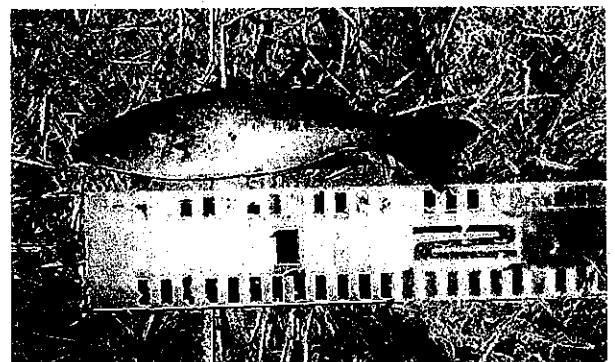
3. 安心・安全な施設の維持管理

●文学館横 ふみの池外来魚駆除 (11月27日～12月1日)

お客様からのご意見より、文学館横のふみの池に外来魚がいると報告が入り調査を行い、ブラックバスが放されていたことが発覚した。生態系を壊す外来種は、様々な地域で問題になっているため、駆除を行った。ふみの池や水路も含めて、合計17匹の外来魚が捕獲された。今後も継続的に観察を行い、必要に応じて対策を行う。



水を抜いた池



実際駆除した外来種